講　座　紹　介

～プロジェクトＸならぬ、プロジェクト Ryukyu ～専門研修センターの取組～

専門研修センター特命助教　玉寄　真紀（14期生）

同窓生の皆様、こんにちは。今回は、昨年新しく出来ました‘専門研修センター’を紹介させて頂きます。

琉球大学は平成20年度に、文部科学省が提案した「大学病院連携型高度医療人養成推進事業」を運営する大学に採択されました。（全国で19大学のみの採択です）その後平成20年11月に医学部附属病院に専門研修センターを設置し、「多極連携型専門医・臨床研究医育成事業」を展開しています。当センターは‘最新医学知識や高度先進医療技術の習得のみならず、専門医資格取得を積極的に目指し且つ科学的思考を持って専門医療を行える質の高い医師の育成’をコンセプトに、様々な取り組みをしています。対象は、初期臨床研修終了後の医師で専門医や博士号取得を目指す先生方です。

早速、具体的な内容をご説明致します。先ず‘各診療科において豊富な指導医や専門医の極め細やかな指導が受けられる専門医育成コース’が129あります。特色は、全国の30大学病院･49地域病院と連携している事です。これらの医療機関で、様々な症例をより効率良く経験できます。また、解剖学的構造をリアルに再現した高機能シミュレーターも取り揃え、臨場感溢れるトレーニングセミナーを随時行っています。カンファレンス・セミナー・講演会も充実させ、基礎的プライマリケアや専門医療に関する内容、論文の内容を理解する能力や読み方を習得するEBM抄読会など、様々な内容を毎月開催しています。そして現在、これらの内容をパソコンで学習できるｅラーニングシステムも整備中です。それにより、基礎知識の復習から実践的知識および最新医療知識の学習まで、いつでも・どこでも・何度でも継続的な学習が可能となり、全国でも数少ない貴重な症例の手術記録も閲覧可能となります。

本事業のもう1つの特色は、臨床研究医育成コースも設置している事です。‘自ら臨床研究をデザインし解析できる能力を習得し、科学的な思考を持って専門医療を行える医師の育成’をコンセプトとしており、基礎的な臨床論文を理解する能力や統計学やデータマネージメント等を習得できます。

また、「働く場の環境支援・女性医師部門」も設置し、出産後・子育て中の女性医師や已む無く休職した医師の復職支援にも取り組んでいます。それにより、復帰する先生自身の無理や不安の無いスムーズな現場復帰のサポートのみならず、「男女共に職場全体が働きやすい環境にする」事も目指しています。対象者は女性に限らず、年齢・出身大学・所属も問いません。ご興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。今後「指導医による離島への教育的巡回指導」や「Webシステムを利用した遠隔地との症例コンサルテーション」も行うべく、現在準備を進めているところです。

今後も、様々なニーズに対応できる 魅力ある内容を提供して参ります。当センターのプログラムに参加することで、自らのキャリアアップの明確な道筋が見えてくることでしょう。詳しくは、専門研修センターのホームページhttp://www.rky-cfrp.jpをご覧ください。

頑張りましょう、沖縄の子供たちの明るい未来のために

琉球大学医学部病態解析医学育成医学分野(小児科)　玉城　邦人（14期生）

こんにちは。14期生の玉城と申します。今回は琉球大学小児科医局をご紹介します。

私ども小児科では、太田孝男教授のもと、様々な小児の疾患に対応すべく日夜診療に励んでおります。

外来部門では、①小児生活習慣病（太田孝男教授）②新生児（吉田朝秀、長崎　拓）　③腎・膠原病（金城紀子・比嘉睦）　④先天代謝・遺伝性疾患（知念安紹）　⑤血液・腫瘍（浜田　聡・松田竹広）　⑥神経・筋・発達（大見　剛・玉城邦人）の面々で各分野の診療を担当しています。

病棟部門では、小児科として①血液・腫瘍グループ②腎疾患・膠原病グループ　③神経筋疾患・内分泌代謝・先天異常グループ の各グループに分かれて診療を担当している他、周産期母子センターとして新生児診療にも